



震災支援活動

第11回被災地小学校支援活動報告

支援委員会 村雲俊作

2016. 6/9・10で「NPO法人ガーデンを考える会」として東北の小学校へ被災地支援に行ってきました。今回は、気仙沼と釜石の小学校15校へ支援物資を贈り、その内気仙沼の3小学校にてプランターへの植え付けと花育学習を行ないました。2011年津波発生年に1回目の支援活動を始め、その時の1年生が6年生になるまで続ける事を計画し、6年目足掛け11回の活動を行ってきましたが、今回の支援をもって終了する事を7つの支援先小学校へ挨拶を兼ねて訪問し報告させて頂きました。



写真は前の晩の、2次会でプレハブの居酒屋へ交流の一環と称して行きました。今回のフルメンバーは総勢8名です。このプレハブも年内に出なければならず、出るための資金も無いのにどうしようかと女将さんが言っていました。

当日は、2班に別れそれぞれ5校ずつ10校を分担して出発。写真は、気仙沼九条小学校5,6年生の児童に説明をしているシーンです。この日は、真夏並みの日差して集中力が続かない。説明をして判る事は、事前の準備から子供達の集中力を如何に切らさないように教えることの難しさです。何度やっても上手くいきません。先生の存在に脱帽。



途中、5メートル程の嵩上げ工事が至る所で行なわれています。写真はその上に立つマンションです。これで安全が確保されるのか全く判りませんが、復興工事は確実に進んでいるように映ります。学校の校長先生に最近の状況について伺うと、多くの学校の運動場にある仮設住宅の住人は少なくなっている。子供達は随分元気になった。しかし、今は親の収入事情が向上せずそのストレスが子供にきていると言われました。



所感

子供達の心を花で癒すことが出来たら。そのお手伝いを少しでも出来たらと考え始めた支援。今回で一端終了する運びを告げる中で校長先生からの言葉に感謝の念と、こうして終わっていく寂しさを語られ止める罪悪感のようなものを感じずには居られませんでした。また、こうした支援を継続させて頂いた当会に感謝したいと思います。東北小学校への支援は打ち切りますが、支援事業は、28年度も予算として計上しており、形を代えて継続させる計画で居ります。具体的な内容が決まりました際には説明ご案内を申し上げます。引き続きご支援いただきますよう改めましてよろしくお願い申し上げます。



▲6年間でいただいた御礼文集の一部。作文・写真・イラストなど

会員紹介

大和プラスチック株式会社

弊社は昭和33年に創業し、来年で60周年を迎えます。

創業以来、グリーンのある豊かな生活環境づくりをめざし、植物の育成にマッチした商品、ライフスタイルの変化に応える商品を開発、提案をつづけてまいりました。現在では鉢・プランター等のプラスチック成形品だけでなく、FRP製大型プランターやハイドロカルチャー用のレインボーサンド、挿し木・種まきに使えるロックウール等を取り扱っております。

今後も多様化するニーズを敏感にとらえ、園芸業界の発展につながる製品作りに邁進させていただきますので、ご愛顧、お引き立てのほどよろしくお願いいたします。



〒635-0004 奈良県大和高田市藤森213  
TEL 0745-22-5863 FAX 0745-22-7502 HP <http://www.plastic.co.jp>